



滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

目 次

1850010	家族看護学特論	古株 ひろみ	後期	・ ・ ・	1
1850018	看護英語論文入門	安原 治	前期	・ ・ ・	3
1850019	看護英語論文入門	安原 治	後期	・ ・ ・	5
1850020	看護管理論(大学院)	窪田 好恵	前期	・ ・ ・	7
1850030	看護教育論	岩脇 陽子	前期	・ ・ ・	9
1850050	看護研究方法論	甘佐 京子	前期	・ ・ ・	11
1850060	看護研究方法論	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	13
1850070	看護政策論	小林 孝子	前期	・ ・ ・	15
1850080	看護理論	窪田 好恵	前期	・ ・ ・	17
1850090	看護倫理	糸島 陽子	前期	・ ・ ・	19
1850100	継続療養特論	森 敏	前期	・ ・ ・	21
1850110	コンサルテーション論	甘佐 京子	前期	・ ・ ・	23
1850140	薬物治療学	土田 勝晴	前期集中	・ ・ ・	25
1851010	看護技術学演習	伊丹 君和	後期	・ ・ ・	27
1851020	看護技術学特論	伊丹 君和	前期	・ ・ ・	29
1851050	基盤看護学特別研究	専攻教員		・ ・ ・	31
1851055	基盤看護学特別研究	専攻教員		・ ・ ・	33
1851060	形態機能・生体機構学演習	安原 治	後期	・ ・ ・	35
1851070	形態機能・生体機構学特論	安原 治	後期	・ ・ ・	37
1851090	精神看護援助方法論	甘佐 京子	後期	・ ・ ・	39
1851100	精神看護関連技法演習	甘佐 京子	後期	・ ・ ・	41
1852010	生涯健康看護学特別研究	専攻教員		・ ・ ・	43
1852015	生涯健康看護学特別研究	専攻教員		・ ・ ・	45
1852020	小児家族看護学演習	古株 ひろみ	後期	・ ・ ・	47
1852030	小児家族看護学特論	古株 ひろみ	前期	・ ・ ・	49
1852040	成人継続看護学演習	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	51
1852050	成人継続看護学特論	糸島 陽子	後期	・ ・ ・	53
1852060	成人健康支援演習	森 敏	後期	・ ・ ・	55
1852070	成人健康支援特論	森 敏	後期	・ ・ ・	57
1852080	母性看護学演習	越山 雅文	後期	・ ・ ・	59
1852090	母性看護学特論	越山 雅文	後期	・ ・ ・	61
1852100	老年看護援助展開演習	平田 弘美	後期	・ ・ ・	63
1852110	老年看護援助論	平田 弘美	後期	・ ・ ・	65
1852120	老年健康生活特論	平田 弘美	前期	・ ・ ・	67
1852130	老年健康生活評価演習	平田 弘美	後期	・ ・ ・	69
1852140	老年サポート技術演習	平田 弘美	前期	・ ・ ・	71
1853010	慢性看護学課題研究	横井 和美	通年集中	・ ・ ・	73
1853015	慢性看護学課題研究	横井 和美	通年集中	・ ・ ・	75
1853020	慢性看護学実習	横井 和美		・ ・ ・	77
1853030	慢性看護学実習	横井 和美		・ ・ ・	79
1853040	慢性看護学特論A	横井 和美	前期	・ ・ ・	81
1853050	慢性看護学特論B	横井 和美	後期	・ ・ ・	83
1853060	慢性看護支援論A	横井 和美	前期	・ ・ ・	85
1853070	慢性看護支援論B	横井 和美	後期	・ ・ ・	87
1853080	慢性看護支援論C	横井 和美	後期	・ ・ ・	89
1853100	慢性看護支援論演習	横井 和美	通年	・ ・ ・	91
1853110	組織行動マネジメント論特論	窪田 好恵	前期	・ ・ ・	93
1853120	組織行動マネジメント論演習	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	95
1853130	公衆衛生看護学特論	小林 孝子	前期	・ ・ ・	97
1853140	公衆衛生看護学演習	小林 孝子	後期	・ ・ ・	99
1853180	人的資源活用論特論	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	101
1853190	人的資源活用論演習	窪田 好恵	後期	・ ・ ・	103
1853200	在宅看護学特論	未定*	前期	・ ・ ・	105
1853210	在宅看護学演習	未定*	後期	・ ・ ・	107

講義名	家族看護学特論				担当教員	古株 ひろみ / 未定*	
講義コード	1850010	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT505						

授業概要

看護活動に共通する家族の今日的課題を中心に家族の機能の変遷を探究し、家族システム理論などの諸理論及び家族看護の役割と機能について教授する

到達目標

- (1) 家族看護に関する理論が理解できる
- (2) 理論をもちいて、看護実践に応じた家族看護の展開方法について説明することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	到達目標(1)について70%をレポートにて評価する
上記以外	30	到達目標(2)については、プレゼンテーションで評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	家族看護学	鈴木和子	日本看護協会出版会	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	家族看護学特論					担当教員	古株 ひろみ / 未定*
講義コード	1850010	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT505						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	家族看護の背景	国内外の家族についての捉え方を理解し、家族看護における家族の定義などを探究する
第2回	家族看護理論(1)	家族システム理論などの理論を理解し、家族機能のアセスメントへの基礎的知識を学ぶ
第3回	家族看護理論(2)	家族ストレス対処理論のモデルについて理解し、家族機能のアセスメントへの基礎的知識を学ぶ
第4回	家族のアセスメント技法(1)	カルガリー家族アセスメントモデルについて理解し、家族機能のアセスメント及び介入法について探求する
第5回	家族のアセスメント技法(2)	カルガリー家族アセスメントモデルについて理解し、家族機能のアセスメント及び介入法について探求する
第6回	家族のアセスメント及び介入の技法	家族への面接技法について理解し、面接による家族への介入方法について探求する
第7回	家族のアセスメント及び介入の技法	各々が事例をもとに、具体的な家族機能に関するアセスメントと介入方法について考察し、ディスカッションにて学びを深める
第8回	家族看護のアプローチ方法1	視聴覚鑑賞から在宅で生活する家族に対する看護について検討する
第9回	家族看護のアプローチ方法2	家族看護の実践例を通し在宅生活をする療養者とその家族について考える
第10回	家族看護のアプローチ方法3	実践に繋がる家族看護の考え方についてのプレゼンテーションを行う(資料あり)
第11回	家族看護のアプローチ方法4	プレゼンテーションを通し、理論的な観点から家族看護について討議する
第12回	家族看護のアプローチ方法5	家族看護の実践例についてのプレゼンテーションを行う(資料あり)
第13回	家族看護のアプローチ方法6	プレゼンテーション実践例から家族看護について理論的な観点からの討議をする
第14回	変化する家族へ看護のアプローチ1	各自が経験した実践例を挙げ、家族看護学の視点から分析してプレゼンテーションをする
第15回	変化する家族へ看護のアプローチ1	各事例から家族看護について検討する
担当者から一言		

講義名	看護英語論文入門					担当教員	安原 治
講義コード	1850018	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT512						

授業概要

研究とは、過去の知見の上に新しい知見を積み上げて行く行為である。したがって、論文購読は研究活動の中で大きな比重を占めている。とくに看護学を含む生命科学は、世界共通の学問であるため、英語論文の購読は看護学研究にとって必要不可欠な作業である。本講義では、各学生が今読まなければならない、あるいは今読みたいと思っている看護英語論文をもちよって、相互に読み進めていく。英語論文に慣れ、独力で英語論文が読めるようになることを目標にする。

到達目標

- (1) 英語論文に慣れ、独力で英語論文が読める。
- (2) 英語論文を読み、その方法論や論理について批判的な論評を加えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席、および毎回の論文抄読を評価する

授業外学習

(宿題) 分担で担当部分を和訳する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	看護英語論文入門					担当教員	安原 治
講義コード	1850019	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT513						

授業概要

看護英語論文Iに引き続き、英語論文の抄読を進める。英語論文を批判的に読む練習は、研究力をつけるための恰好のトレーニングである。本講義では、看護英語論文Iの内容をさらに深めて、英語論文を批判的に読む練習にまで進めていきたい。各自が看護英語論文をもちよって、相互に読み進める。

到達目標

- (1) 英語論文に慣れ、独力で英語論文が読める。
- (2) 英語論文を読み、その方法論や論理について批判的な論評を加えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席、および毎回の論文抄読を評価する

授業外学習

(宿題) 分担で担当部分を和訳する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護英語論文入門				担当教員	安原 治	
講義コード	1850019	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT513						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	論文批評の方法
第2回	英語論文抄読(1)	
第3回	英語論文抄読(2)	
第4回	英語論文抄読(3)	
第5回	英語論文抄読(4)	
第6回	英語論文抄読(5)	
第7回	英語論文抄読(6)	
第8回	英語論文抄読(7)	
第9回	英語論文抄読(8)	
第10回	英語論文抄読(9)	
第11回	英語論文抄読(10)	
第12回	英語論文抄読(11)	
第13回	英語論文抄読(12)	
第14回	英語論文抄読(13)	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	看護管理論（大学院）				担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美	
講義コード	1850020	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT510						

授業概要

看護専門職として高度なマネジメント能力を修得することを目的として、看護組織論、看護制度・政策論、看護経営と業務管理、人的資源活用論、看護情報管理について概説する。また、看護組織内での課題を明確にし、看護管理の理論枠組みを活用して考究する。

到達目標

現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状と看護管理の役割を関係づける。
看護組織と変革方法について説明できる。
看護部組織の分析ができ、そのなかで自己の課題を明確にして説明できる。
キャリア開発の意義と方法について説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	レポート課題を課す
上記以外	50%	プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護管理概説 第1巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	
2	看護組織論 第2巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	
3	看護マネジメント論 第3巻	井部俊子 中西睦子監修	日本看護協会出版会	

看護管理テキスト第2版 看護における人的資源活用論 第4巻

前提学力等

履修資格

講義名	看護管理論（大学院）					担当教員	窪田 好恵 / 米田 照美
講義コード	1850020	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT510						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業ガイダンス 看護管理における自己の課題
第2回	看護管理概説	現代の保健医療福祉サービスを取り巻く現状と看護管理の役割 看護管理サービスとは
第3回	看護マネジメント	看護組織論 組織とマネジメント
第4回	看護組織と変革	組織開発と組織変革
第5回	課題 1	自己の看護管理における課題
第6回	課題 1	自己の看護管理における課題
第7回	看護管理課題と役割	プレゼンテーション
第8回	看護管理課題と役割	プレゼンテーション
第9回	看護管理のスキル	人間関係を構築する技術 組織の効率性を高める技術
第10回	キャリア開発	キャリア開発の意義と方法
第11回	課題 2	病院の組織と人材育成、看護と経営について
第12回	課題 2	病院の組織と人材育成、看護と経営について
第13回	組織と人材育成	プレゼンテーション
第14回	組織と人材育成	プレゼンテーション
第15回	まとめ	自己管理と看護サービス管理の周辺
担当者から一言		

講義名	看護教育論				担当教員	岩脇 陽子 / 滝下 幸栄	
講義コード	1850030	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT507						

授業概要

看護基礎教育および看護継続教育の現状と課題、課題達成の方法について、自己の経験と学習理論、専門職の育成に関する理論を活用して考察する。また、学習者が主体となり学び続けることの意義とその方法についても探求する。

到達目標

授業で取り上げた看護教育に関する基礎的な知識、理論を自分の言葉で説明できる。また、看護学教育の現状と課題、展望について考察できる。さらに、キャリアマネジメントの意義と方法を理解し、実践を通して専門職として成長し続けるために有効な教育的働きかけについて、自分の言葉で述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	討論への参加状況

授業外学習

集中講義となるため、授業内容に関連することについて調べ、自分の考えを説明できるようにしておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要時、資料を提示する。

前提学力等

履修資格

講義名	看護研究方法論					担当教員	甘佐 京子 / 浅野 弘明 / 古株 ひろみ
講義コード	1850050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT502						

授業概要

実践研究に必要な看護学の科学的アプローチの方法を理解し、量的研究および質的研究のプロセスを概観する

到達目標

自己の研究目的や方法をより洗練するための効果的な論文クリティークができる。
 自分の関心領域の看護現象の概念・キーワードを明確にできる。
 探究する現象へのアプローチする方法を選択できる。
 アプローチ方法（質的・量的研究方法）の基本を理解できる。
 研究倫理について基本的な原則を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	討論参加度

出席状況、期限外のレポート提出などで評価の対象としない場合がある

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実習で学ぶSPSSと統計学の基礎	浅野弘明	ブレイクス出版	
2	看護研究入門 実践・評価・活用	バーンズ&グロブ	エルゼビア出版	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護研究方法論					担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美
講義コード	1850060	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT503						

授業概要

専門看護師が看護研究を進める際に必要な基礎的知識を学習する。様々な臨床データの収集方法、分析方法、論文作成、プレゼンテーション方法を学習する。

到達目標

- (1) 研究に必要な基礎的知識が理解できる。
- (2) 研究疑問を解決するための研究計画書を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%
上記以外	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護研究方法論				担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美	
講義コード	1850060	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT503						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	臨床看護研究	研究の意義と倫理の概要について紹介し、臨床看護研究の意義、研究倫理について考える。
第2回	研究課題の選択	受講生の研究疑問を発表し、先行研究の概観をとおして、研究テーマを考える。
第3回	文献検索と文献クリティーク	質的研究論文をクリティークする。
第4回	文献検索と文献クリティーク	質的研究論文をクリティークする。
第5回	文献検索と文献クリティーク	量的研究論文をクリティークする。
第6回	文献検索と文献クリティーク	量的研究論文をクリティークする。
第7回	研究デザイン・概念枠組み	システマティックレビューを行い、研究デザイン、概念枠組みを考える。
第8回	量的研究方法	質問紙の作成方法を知る。
第9回	量的研究方法	データ収集方法と統計解析を知る。
第10回	質的研究方法	インタビューガイドの作成方法を知る。
第11回	質的研究方法	インタビュー演習・逐語録の分析方法を知る。
第12回	論文の書き方とプレゼンテーション	論文の書き方とプレゼンテーションの方法を知る。
第13回	研究計画書作成	研究計画書を作成する。
第14回	研究計画書作成	研究計画書を作成する。
第15回	研究計画書作成	研究計画書を発表する。

担当者から一言

講義名	看護政策論					担当教員	小林 孝子
講義コード	1850070	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT506						

授業概要

国・都道府県・市町村における社会・医療のニーズに対する看護政策の在り方とその政策過程を理解する。また看護政策が策定される過程を検討し、住民の健康課題の解決に寄与できる看護政策立案に向けて政策策定能力の基礎的能力を養う。

到達目標

- (1) 政策とは何かを理解する。
- (2) 政策の策定過程を理解する。
- (3) 看護職の抱える課題を理解し、現行の看護政策と関連づけることができる。
- (4) 課題解決のための行動方針・計画を考えることができる。
- (5) 課題解決のための看護政策が立案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1)(4)(5) レポート(50%)
上記以外	50	(2)(3) ディスカッション(30%)、プレゼンテーション(20%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護職者のための政策過程入門	見藤隆子他	日本看護協会出版会	
2	看護管理学学習テキスト7 看護制度・政策論	井部俊子・中西睦子	日本看護協会出版会	
3	日本看護協会の政策提言活動	日本看護協会編	日本看護協会出版会	

前提学力等

履修資格

講義名	看護理論					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1850080	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT501						

授業概要

看護学の歴史と哲学、論理的思考、理論開発等を探求し、看護現象を把握するための能力を高める。看護理論の発展過程を踏まえながら看護理論の現状について概説し、理論と実践への適用・課題について教授する。また、看護の焦点となる現象と理論を構成する概念との関係について解説し、看護理論を看護実践の機能の中へ組み入れる方法について教授する。

到達目標

- (1) 看護学の発展と看護理論の関係、理論の生成とその意味を説明できる。
- (2) 課題について、論点を明確にした発表内容を効果的な方法でプレゼンテーションできる。
- (3) ディスカッションに積極的に参加し、課題に対する自己の考えをわかりやすく述べる。
- (4) 看護理論を実践に援用して説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標(1)(4)についてレポート課題を課す。
上記以外	40%	到達目標(2)(3)について、ディスカッションへの参加状況、プレゼンテーションで評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護理論家の業績と理論評価	Ann Marriner Tomey, 筒井真優美編	医学書院	
2	看護科学のパラダイム転換)野島良子	へるす出版	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護学における理論思考の本質	Hesook Suzie Kim: 上鶴重美監訳	日本看護協会出版会	
2	看護理論の分析と評価	フォーセット: 太田喜久子他監訳	廣川書店	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護理論					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1850080	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT501						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	授業の進め方 理論とは
第2回	看護学・看護科学の発展	看護学・看護科学の発展プレゼンテーション。ディスカッション
第3回	看護学・看護科学の発展	看護学・看護科学の発展 プレゼンテーション・ディスカッション
第4回	看護理論	プレゼンテーション・ディスカッション
第5回	看護理論	プレゼンテーション・ディスカッション
第6回	理論の評価	プレゼンテーション・ディスカッション
第7回	看護理論の歴史	プレゼンテーション・ディスカッション
第8回	看護理論の歴史	プレゼンテーション・ディスカッション
第9回	看護理論と倫理	プレゼンテーション・ディスカッション
第10回	看護理論の理解と実践への応用	講義
第11回	看護理論の理解と実践への応用1	プレゼンテーション・ディスカッション
第12回	看護理論の理解と実践への応用2	プレゼンテーション・ディスカッション
第13回	看護理論の理解と実践への応用3	プレゼンテーション・ディスカッション
第14回	看護理論の理解と実践への応用4	プレゼンテーション・ディスカッション
第15回	まとめ	まとめ
担当者から一言		

講義名	看護倫理					担当教員	糸島 陽子
講義コード	1850090	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT509						

授業概要

現代社会における倫理的課題について概観し、人の生と死、個人の尊厳と権利、安全で安寧や生活、健康をめぐる様々な倫理的課題とその解決の方略を検討する。その中で、看護専門職の役割・責任について、看護倫理学の視点から探求する。

到達目標

- (1) 臨床・教育・研究における倫理的課題と解決のための方略を理解できる。
(2) 倫理的看護実践について理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%
上記以外	50%	到達目標(1) 25% 到達目標(2) 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護実践の倫理 第3版	サラ T. フライ	日本看護協会出版会	978-4-8180-1512-8
2				
3				

看護者の倫理綱領(2003年 日本看護協会)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護倫理				担当教員	糸島 陽子	
講義コード	1850090	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT509						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	現代社会と倫理	生命倫理・医療倫理の歴史的背景を紹介し、受講生の経験をふまえて現代社会における倫理的課題を探究する。
第2回	看護倫理の基礎	倫理原則、倫理綱領、インフォームド・コンセントなどを紹介し、看護実践における倫理的課題を探究する。
第3回	看護倫理の基礎	アドボカシー、責務と責任、協力、ケアリングなどの看護実践上の倫理的概念を知り、看護専門職のあり方、役割、責任について探究する。
第4回	看護倫理の基礎	看護倫理綱領をもとに、看護専門職の役割、責任について探究する。
第5回	看護倫理の基礎	看護情報のもつ意味、守秘義務について知り、看護職の倫理的責任と法的責任を探究する。
第6回	生殖補助医療と倫理	生殖補助医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第7回	小児医療と倫理	小児医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第8回	高齢者医療と倫理	高齢者医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第9回	終末期医療と倫理	終末期医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第10回	移植・再生医療と倫理	移植・再生医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第11回	精神科領域の医療と倫理	精神科領域における医療の現状と課題を知り、看護専門職の役割と責任を探究する。
第12回	公衆衛生と倫理	公衆衛生における倫理をもとに、看護専門職の役割と責任を探究する。
第13回	災害状況と倫理	災害状況におけるトリアージをもとに、看護専門職の役割と責任を探究する。
第14回	研究倫理	看護と研究について概観し、看護研究における看護専門職の役割と責任を探究する。
第15回	事例検討	倫理カンファレンスを実施して、事例検討を行う。
担当者から一言		

講義名	継続療養特論					担当教員	森 敏
講義コード	1850100	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT504						

授業概要

患者指導に必要な基礎のおよび専門的知識を獲得するため、疾患の治療法、予防法、さらに食事療法について学ぶ。すなわち、各疾患の成り立ちと治療過程の理解力を養う。

到達目標

- (1) 高齢者の身体・精神特性を説明できる。
(2) 認知症、パーキンソン病、脳血管障害など、日常よく見られる疾患の症候・診断・治療・ケアを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0 0	
レポート課題	50	
上記以外	50	

出席が前提。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	認知症のとらえ方・対応の仕方	森 敏	金芳堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

成人健康支援特論、成人健康支援演習を履修する者

履修資格

講義名	継続療養特論				担当教員	森 敏	
講義コード	1850100	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT504						

授業計画		
------	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	神経学的診断法	
第2回	パーキンソン病	
第3回	大脳皮質基底核変性症	
第4回	進行性核上性麻痺	
第5回	脳血管障害	
第6回	老年医学概論	
第7回	高齢者の身体特性	
第8回	高齢者の精神特性	
第9回	認知症総論	
第10回	認知症各論	アルツハイマー病
第11回	認知症各論	レビー小体型認知症
第12回	認知症各論	前頭側頭型認知症
第13回	認知症各論	血管性認知症
第14回	認知症各論	正常圧水頭症
第15回	認知症のメンタルケア	認知症のメンタルケア

担当者から一言		
---------	--	--

講義名	コンサルテーション論					担当教員	甘佐 京子 / 吉田 智美
講義コード	1850110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT508						

授業概要

コンサルテーションの定義、目的、タイプ、プロセス、評価方、法及び有用な相談プロセスが共有展開できるための方法論等を論じ、医療の専門職や医療従事者が直面する課題や困難・問題に対処するための基礎能力を養う。

到達目標

1. コンサルテーションの定義、目的・プロセスについて理解できる
2. 医療の対象者及び医療従事者に対するコンサルテーションの基本的な実践能力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	最終レポート 「看護専門職にとってのコンサルテーションとは」
上記以外	40	講義でのプレゼンテーションおよびディスカッションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	プロセス・コンサルテーション	E. H. シャイン	白桃書房	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	薬物治療学					担当教員	土田 勝晴 / 竹内 孝治
講義コード	1850140	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	581MNT511						

授業概要

薬物療法に関する情報は増加の一途にあり、新しい薬理作用を持つ薬物が実地臨床に次々と登場している。種々の疾患に対して安全性と有効性に関する科学的根拠に基づいた薬剤選択を行うためには、多様な薬物に関する情報を的確に整理し活用することが重要であるとともに薬理作用や副作用発現のメカニズムを熟知することが必要である。本講義では慢性疾患に関する薬物治療について学習する。

到達目標

主要薬剤の適応症、副作用、作用機序を理解する。(レポートと試験で確認)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護技術学演習					担当教員	伊丹 君和
講義コード	1851010	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT515						

授業概要

看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法を探求する。また、看護技術学に関連する国内外の関連文献ならびに関連領域の研究をクリティックする力を養い、自己の研究課題の焦点化と研究デザインの基礎を培う。

到達目標

- (1) 看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法を探求する
- (2) 看護技術学に関連する国内外の関連文献ならびに関連領域の研究についてクリティックできる
- (3) 自己の研究課題の焦点化と研究デザインについて考究する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術のエビデンス・介入方法の検証 30% ・看護技術に関する研究のクリティック 35% ・自己の研究課題の焦点化と研究デザインの考究 35%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護技術の科学と検証	川島みどり、菱沼典子	日本看護協会出版会	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護技術学演習				担当教員	伊丹 君和	
講義コード	1851010	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT515						

授業計画						
回数	タイトル		概要			
第1回	看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法の探求(1)		看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法について探求する(1)			
第2回	看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法の探求(2)		看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法について探求する(2)			
第3回	看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法の探求(3)		看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法について探求する(3)			
第4回	看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法の探求(4)		看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法について探求する(4)			
第5回	看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法の探求(5)		看護技術のエビデンスの検証方法、介入方法の検証法について探求する(5)			
第6回	看護技術学に関連する研究課題の 焦点化と研究デザインの基礎		看護技術学に関連する研究課題の 焦点化と研究デザインの基礎について理解する			
第7回	看護技術学に関連する研究のクリ ティーク(1)		看護技術学に関連する研究についてクリ ティークする(1)			
第8回	看護技術学に関連する研究のクリ ティーク(2)		看護技術学に関連する研究についてクリ ティークする(2)			
第9回	看護技術学に関連する研究のクリ ティーク(3)		看護技術学に関連する研究についてクリ ティークする(3)			
第10回	看護技術学に関連する研究のクリ ティーク(4)		看護技術学に関連する研究についてクリ ティークする(4)			
第11回	自己の研究課題における介入方法 の検証(1)		自己の研究課題における介入方法について 検証する(1)			
第12回	自己の研究課題における介入方法 の検証(2)		自己の研究課題における介入方法について 検証する(2)			
第13回	自己の研究課題における介入方法 の検証(3)		自己の研究課題における介入方法について 検証する(3)			
第14回	自己の研究課題における介入方法 の検証(4)		自己の研究課題における介入方法について 検証する(4)			
第15回	まとめ		自己の研究課題を焦点化し、研究デザインについて 考究する			
担当者から一言						

講義名	看護技術学特論					担当教員	伊丹 君和
講義コード	1851020	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT514						

授業概要

専門性の高い科学としての看護を实践するための基盤となる看護技術について、科学と技術の概念、その発達史の概略を理解し、看護技術の位置、その意味と目的を考察する。また、看護技術に携わる者としての社会的役割、責任など倫理的課題について認識を深める。人を対象とする技術の特性、看護技術の基本的な方法論を理解し、エビデンスの検証、現在の研究知見と看護実践および教育への適応について考究する。

到達目標

- (1) 科学と技術の概念と変遷を理解した上で、看護における技術の意味と目的について考察する
(2) 科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
(3) 看護技術学とは何か、および看護技術に影響する諸因子について考察する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	・課題レポート70% (先行文献のクリティーク35%、「看護技術を考える」レポート35%)
上記以外	30%	・ディスカッション30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	看護技術論	メジカルフレンド社編集部編	メジカルフレンド社	
2	看護技術の現在	川島みどり	勁草書房	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	看護技術学特論					担当教員	伊丹 君和
講義コード	1851020	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT514						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	科学と技術の概念と変遷	科学と技術の概念と変遷について理解する
第2回	看護における技術の意味と目的	看護における技術の意味と目的について考える
第3回	看護技術学の探求(1)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第4回	看護技術学の探求(2)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第5回	看護技術学の探求(3)	看護技術に関する文献をもとに看護技術学について考える
第6回	看護技術の安全性・安楽性と倫理的課題	看護技術の安全性・安楽性と倫理的課題について考える
第7回	看護技術のエビデンスの検証(1)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第8回	看護技術のエビデンスの検証(2)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第9回	看護技術のエビデンスの検証(3)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第10回	看護技術のエビデンスの検証(4)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第11回	看護技術のエビデンスの検証(5)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第12回	看護技術のエビデンスの検証(6)	科学的根拠に基づいた看護技術について、文献をクリティークしながら検証する
第13回	看護技術研究の現状と今後	看護技術研究の現状と今後について考える
第14回	看護技術研究の現状と今後	看護技術研究の現状と今後について考える
第15回	今、看護に求められているもの	今、看護に求められるものについて考える
担当者から一言		

講義名	基盤看護学特別研究				担当教員	専攻教員 / 甘佐 京子 / 荒川 千登世 / 伊丹 君和 / 板谷 裕美 / 糸島 陽子 / 窪田 好恵 / 古株 ひろみ / 小林 孝子 / 平田 弘美 / 古川 洋子 / 牧野 耕次 / 未定* / 森 敏 / 安原 治 / 横井 和美	
講義コード	1851050	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	681MNT601						

授業概要

基盤看護学分野では、当該領域の専門的な知識と研究方法・技術等を適用し、実証的・開発的な研究を指導する。

到達目標

看護学の新たな知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文公聴会、最終試験の結果を総合して審査する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基盤看護学特別研究				担当教員	専攻教員 / 甘佐 京子 / 荒川 千登世 / 伊丹 君和 / 板谷 裕美 / 糸島 陽子 / 窪田 好恵 / 古株 ひろみ / 小林 孝子 / 平田 弘美 / 古川 洋子 / 牧野 耕次 / 未定 * / 森 敏 / 安原 治 / 横井 和美	
講義コード	1851055	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	681MNT601						

授業概要

基盤看護学分野では、当該領域の専門的な知識と研究方法・技術等を適用し、実証的・開発的な研究を指導する。

到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文公聴会、最終試験の結果を総合して審査する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	形態機能・生体機構学演習					担当教員	安原 治
講義コード	1851060	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT519						

授業概要

神経疾患の症例を提示し、病態と看護について検討する。さらに関連する論文を読み進める。

到達目標

- 1) 神経系の病気の概略を説明できる。
- 2) 神経診察と診断法について理解出来る

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席と討論内容を評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	形態機能・生体機構学特論				担当教員	安原 治	
講義コード	1851070	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT518						

授業概要

神経疾患の診察法や診断法に触れるとともに、代表的な神経疾患の病態生理と看護法について学ぶ。さらに、関連する内外の論文を読み進め、研究の現状を理解する。

到達目標

看護研究のテーマをみつけ、研究デザインができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	出席と討論内容を評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	形態機能・生体機構学特論				担当教員	安原 治	
講義コード	1851070	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT518						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	
第2回	神経の構造と機能(1)	
第3回	神経の構造と機能(2)	
第4回	神経診察法概説	
第5回	神経診断学概説	
第6回	脳血管障害(1)	脳梗塞
第7回	脳血管障害(2)	脳出血とくも膜下出血
第8回	脳の感染症	髄膜炎と脳炎
第9回	脳の変性疾患(1)	パーキンソン病
第10回	脳の変性疾患(2)	アルツハイマー病
第11回	脳の変性疾患(3)	ALS
第12回	脳の変性疾患(4)	脊髄小脳変性症
第13回	脱髄疾患	多発性硬化症
第14回	プリオン病	
第15回	末梢神経障害	
担当者から一言		

講義名	精神看護援助方法論				担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次	
講義コード	1851090	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT520						

授業概要

看護介入の基本を提供するため、精神病理のアセスメントと診断のためのパラダイム(理論的枠組み)強調し、「異常」といわれる基本的な特質について学習する。病因学・症候学・病気の経過や見通しに関する研究成果を概念づけるために、相互作用的研究パラダイムについても学習する。

到達目標

1. 精神病理とそのアセスメントと診断に関する理論を比較・対照できる。
2. 研究から得られた、精神疾患の病因学・症候学・病気の経過や見通しに関する知識を習得する。
3. 精神病理とそのアセスメントと診断を看護の視点から批判的に評価判定することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	課題1および2についてディスカッションを経て、新たな意見とを取り入れ加筆修正したものをレポートとして提出。 課題1については以下のことが網羅されていること。参考文献は複数用いること。 1. 特徴
上記以外	40	プレゼンの資料(メンバーにわかりやすく論理的にまとめられているか) ディスカッションの参加状況(問題に対して積極的に意見交換ができていますか)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特に指定しない

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	精神看護関連技法演習				担当教員	甘佐 京子 / 牧野 耕次	
講義コード	1851100	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT521						

授業概要

精神の医療・看護に関与する専門職者として、精神看護に関連した技法について学び、看護師としてその技法を用いるための方法論を修得することを目的とする。

到達目標

精神看護の関連技法の理論的背景を理解し、その知識や技法を看護実践に応用していく方策について自己の考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	関連技法を活用しか看護介入のあり方について、事例を用いて論じることができる。必ず理論的枠組みを説明すること。
上記以外	40	担当する部分で、理論や技法以外に用いられている用語の中で、自分が気になった用語についても、その意味を調べてプレゼンする。 テキストのまとめではなく、別の文献をもちいて、よりが学術的な観点でプレゼンしてください。参考図書・文献に

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初講時に、履修者の希望を聞き、内容を少し変更する場合があります。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	精神看護と関連技法	坂田三充編集	中山書店	
2				
3				

前提学力等

参考図書等で精神看護の関連技法にどのようなものがあるか事前に学習して置いてください。

履修資格

講義名	生涯健康看護学特別研究				担当教員	専攻教員 / 甘佐 京子 / 荒川 千登世 / 伊丹 君和 / 板谷 裕美 / 糸島 陽子 / 窪田 好恵 / 古株 ひろみ / 小林 孝子 / 平田 弘美 / 古川 洋子 / 牧野 耕次 / 未定* / 森 敏 / 安原 治 / 横井 和美	
講義コード	1852010	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	681MNT602						

授業概要

生涯健康看護学分野では、対象となる人々とその家族の健康増進および継続的な療養生活を支援・評価するための研究を指導する。

到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文公聴会、最終試験の結果を総合して審査する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生涯健康看護学特別研究				担当教員	専攻教員 / 甘佐 京子 / 荒川 千登世 / 伊丹 君和 / 板谷 裕美 / 糸島 陽子 / 窪田 好恵 / 古株 ひろみ / 小林 孝子 / 平田 弘美 / 古川 洋子 / 牧野 耕次 / 未定* / 森 敏 / 安原 治 / 横井 和美	
講義コード	1852015	単位数	8	開講期			
ナンバリング番号	681MNT602						

授業概要

生涯健康看護学分野では、対象となる人々とその家族の健康増進および継続的な療養生活を支援・評価するための研究を指導する。

到達目標

看護学の新規な知見を含み、かつその内容が看護学の発展に貢献できる学術的な論文を作成する
看護学に関する広い視野と学識を有し、これらに基づいて看護を実践的・開発的に展開していく能力を身につける

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	修士論文、修士論文公聴会、最終試験の結果を総合して審査する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児家族看護学演習				担当教員	古株 ひろみ	
講義コード	1852020	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT529						

授業概要

障害や疾患がある子どもとその家族の状態について、倫理的配慮を含めて包括的に査定・援助する方法を議論させる。また、子どもとその家族の実態についてフィールドワークなどにより理解を深め、その問題点と援助方法を探究し、自己の研究課題・研究方法を明確化させる。

到達目標

- (1) 文献検討や資料からさまざまな健康状態の子どもとその家族における課題について説明できる
(2) 課題解決に向けた子どもの権利を尊重し、小児の発達を踏まえた看護援助方法を考究できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	到達目標(2)はレポートにて評価する
上記以外	30	到達目標(1)はプレゼンテーションで評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児家族看護学演習				担当教員	古株 ひろみ	
講義コード	1852020	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT529						

授業計画						
回数	タイトル	概要				
第1回	クリティークの方法とプレゼン方法について	小児家族看護学演習全体の概要とプレゼンテーション方法について理解する				
第2回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第3回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第4回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第5回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第6回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第7回	研究疑問の関連文献クリティーク	各自の関連文献のクリティークについてのディスカッションを通して自己の研究課題を明確化させる				
第8回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第9回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第10回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第11回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第12回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第13回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第14回	研究疑問の関連現象の社会的背景およびアプローチ方法の分析	研究疑問に関連するデータや書籍について小児を取り巻く社会や家族の変化などを踏まえ考察する				
第15回	まとめ	レポート課題の作成				
担当者から一言						

講義名	小児家族看護学特論					担当教員	古株 ひろみ
講義コード	1852030	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT528						

授業概要

代表的な発達理論について解説し、障害や疾患がある子どもとその家族の健康生活・QOL、子どもの成長発達と生活環境、家族の構成・機能・発達・コーピング、ソーシャルサポートの観点から分析・アプローチする方法を説明できるように教授する

到達目標

- (1) 子どもとその家族の理解を深めるため発達理論、家族看護学理論などの理論を理解できる。
(2) 子どもとその家族へのケアに関連する文献から、子どもの成長発達、家族機能を強めるアプローチ方法が探究できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	到達目標(2)についてレポートにて評価する
上記以外	50	到達目標(1)についてはプレゼンテーションについて評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	小児家族看護学特論				担当教員	古株 ひろみ	
講義コード	1852030	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT528						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	発達理論について	プレゼンテーションの対象となる理論および、プレゼンテーション方法について理解する
第2回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第3回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第4回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第5回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第6回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第7回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第8回	発達理論発表	各自の研究疑問に関連する理論についてプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通して、研究へのアプローチについて考察を深める。
第9回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第10回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第11回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第12回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第13回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第14回	発達理論を基にした研究へのアプローチ	前半で理解した理論を用いて、各自研究へのアプローチ方法についてディスカッションし、考察を深める。
第15回	レポート作成	課題レポートの作成
担当者から一言		

講義名	成人継続看護学演習				担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美	
講義コード	1852040	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT531						

授業概要

継続的な健康障害を有する成人期にある人の心身・生活上の諸問題について、アセスメントするための理論とEBNに基づいた支援技術について探求する。また、成人継続看護学に関連する国内外の文献をクリティークする力を養い、自己の研究課題と研究デザインを考える。

到達目標

- (1) 国内外の文献をクリティークして、成人継続看護の課題について理解できる。
- (2) 健康障害を有する人々に対する継続的な看護方法について理解できる。
- (3) 自己の研究課題と研究デザインを考えることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標 (1) 15% 到達目標 (2) 15% 到達目標 (3) 20%
上記以外	50%	到達目標 (1) 15% 到達目標 (2) 15% 到達目標 (3) 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

前提学力等

成人継続看護学特論を履修している。

履修資格

講義名	成人継続看護学演習				担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美	
講義コード	1852040	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT531						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	成人継続看護に関連する理論、関係法規などを知り、成人継続看護の課題について探求する。
第2回	EBNに基づいた支援技術	第2回・第3回は、質的研究論文をクリティークして、継続的な健康障害を持つ人への支援技術を探求する。
第3回	EBNに基づいた支援技術	
第4回	EBNに基づいた支援技術	第4回・第5回は、量的研究論文をクリティークして、継続的な健康障害を持つ人への支援技術を探求する。
第5回	EBNに基づいた支援技術	
第6回	EBNに基づいた支援技術	第6回・第7回は、概念分析に関する論文をクリティークして、継続的な健康障害を持つ人への支援技術を探求する。
第7回	EBNに基づいた支援技術	
第8回	EBNに基づいた支援技術	第8回・第9回は、尺度開発に関する論文をクリティークして、継続的な健康障害を持つ人への支援技術を探求する。
第9回	EBNに基づいた支援技術	
第10回	EBNに基づいた支援技術	第10回・第11回は、国内外の論文のクリティークをとおして、成人継続看護の特徴と課題を探求する。
第11回	EBNに基づいた支援技術	
第12回	成人継続看護学	文献クリティークをとおして、自己研究課題を明確化し、研究デザインを考える。
第13回	成人継続看護学	研究デザイン、研究目的に応じた研究方法を考える。
第14回	成人継続看護学	質問紙の作成、インタビュー演習など、自己の研究課題に応じた演習を行う。
第15回	成人継続看護学	研究方法に応じた分析方法を考える。

担当者から一言

講義名	成人継続看護学特論				担当教員	糸島 陽子 / 荒川 千登世 / 横井 和美	
講義コード	1852050	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT530						

授業概要

成人継続看護に有用な概念・理論・看護モデルについて学び、事例分析をとおして健康障害を有する人々への継続看護について探求する。

到達目標

- (1) 成人期の特徴が理解できる。
- (2) 成人継続看護に有用な概念・理論・看護モデルについて理解できる。
- (3) 対象の状況に応じた理論を活用して看護現象を分析し、継続看護について考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%
上記以外	50%	到達目標(1) 15% 到達目標(2) 15% 到達目標(3) 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介

前提学力等

履修資格

講義名	成人健康支援演習				担当教員	森 敏	
講義コード	1852060	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT533						

授業概要

「継続療養特論」「成人健康支援特論」で学んだ知識を基に、健康障害を持つ人への具体的な生活支援法を学ぶ。また、演習・実習を通して、患者自らが疾患を自己管理（セルフケア）できるよう指導する能力を養う。

到達目標

- (1) 健康障害を持つ人に対して、生活支援を行える。
- (2) 健康障害を持つ人に対して教育的介入を行い、疾患の自己管理ができるように導くことができる。
- (3) 食事指導・療養指導・生活指導など、具体的な健康支援策を実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	課題に対するレポート作成
上記以外	50	実線記録

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時紹介。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

継続療養特論、成人健康支援特論を履修済の者。

履修資格

講義名	成人健康支援演習				担当教員	森 敏	
講義コード	1852060	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT533						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	呼吸器疾患	診療の実際
第2回	呼吸器疾患	問診
第3回	呼吸器疾患	診察
第4回	呼吸器疾患	検査（ピークフローなど）
第5回	呼吸器疾患	治療：薬物療法
第6回	呼吸器疾患	治療：吸入療法
第7回	呼吸器疾患	治療：アレルギーの除去、減感作療法など
第8回	呼吸器疾患	生活指導
第9回	栄養指導	糖尿病
第10回	栄養指導	肝臓病
第11回	栄養指導	心臓病
第12回	栄養指導	腎臓病
第13回	栄養指導	代謝性疾患
第14回	栄養指導	入院指導
第15回	栄養指導	外来指導

担当者から一言

--

講義名	成人健康支援特論				担当教員	森 敏	
講義コード	1852070	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT532						

授業概要

「継続療養特論」に続いて、さまざまな神経疾患の診断法・治療法・予防法について学ぶ。また、脳神経疾患のフィジカルアセスメント、神経疾患患者に対する食事指導法・生活指導法についても教授する。

到達目標

- (1) 神経系の形態・機能を理解している。
- (2) 神経疾患の診断・治療・ケアを説明できる。
- (3) 神経疾患の予防法・リハビリテーションを理解し、生活指導に活かすことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	90	
レポート課題	0	
上記以外	10	出席点。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは随時紹介。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

継続療養特論を履修済みの者

履修資格

講義名	母性看護学演習				担当教員	越山 雅文 / 板谷 裕美 / 古川 洋子	
講義コード	1852080	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT527						

授業概要

女性の健康支援に関する国内外の関連論文を購読し、研究方法を探究するとともに、実践への適用を検討する。

到達目標

1. 女性のライフステージにおけるリプロダクティブヘルス/ライツに関連した先行研究をcritiqueし、女性の健康維持・増進をもたらす看護援助を深く考察できる。
2. 周産期母子看護に関する国内外の文献を講読し、周産期ケアの研究と実践の動向および今後の課題が把握できる。
3. 学習を通じて習得した知識と方法で、母性看護に活用できる看護支援モデルが検討できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す1) 2) 3) については、課題発表・課題レポートで、1) 30%, 2) 30%, 3) 40%で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	母性看護学特論				担当教員	越山 雅文 / 板谷 裕美 / 古川 洋子	
講義コード	1852090	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT526						

授業概要

女性の健康支援に用いられる諸理論や諸概念を理解し、リプロダクティブヘルス/ライツに関する今日的課題を追求すると共に、ライフステージからみた女性の健康問題や周産期母子及び家族の看護ニーズへの看護援助方法を探究する。

到達目標

1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。
2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。
3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。
4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究課題を検討する上で必要な理論が理解できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。25% 2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。15% 3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。30% 4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究
上記以外	70	1. 系統的文献検索を基に、女性の健康、リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要な理論および概念が理解できる。25% 2. 女性の各ライフステージにおける健康に影響を与える要因が説明できる。15% 3. 女性の健康における課題と母性・助産専門家の役割が考察できる。30% 4. 女性の健康問題や周産期母子および家族への看護実践、研究

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	老年看護援助展開演習					担当教員	平田 弘美
講義コード	1852100	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT537						

授業概要

様々な場で生活する認知症および身体障がいをもつ高齢者の身体・精神状況をアセスメントし、生活の場の違いによる援助方法を検討する。また、認知症および身体障がいをもつ高齢者への援助方法・システム等を諸外国と比較検討し、総合的な援助実践能力を養う。

到達目標

1. 高齢者に関する外国の文献を理解し、クリティークすることができる。
2. 自分の意見を理論的にまとめ、ディスカッションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	
上記以外	70	文献クリティーク40% ディスカッション30%

到達目標1(文献クリティーク40%)
到達目標2(ディスカッション30%、レポート30%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	老年看護援助論					担当教員	平田 弘美
講義コード	1852110	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT535						

授業概要

様々な健康問題を持つ高齢者とその家族の機能、および施設（医療施設を含む）におけるケアの現状を文献や実態から分析し、高齢者看護を实践するために必要な理論・技術を探究する。

到達目標

- (1) 高齢者看護や家族看護に関する看護理論について理解を深める。
- (2) 看護理論に関する文献クリティークができる。
- (3) 関心のある看護理論を理解し、プレゼンテーションができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	関心のある看護理論についてのレポート20%
上記以外	80%	ディスカッション50%、プレゼンテーション30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	老年健康生活特論				担当教員	平田 弘美	
講義コード	1852120	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT534						

授業概要

高齢者の健康生活を支援する理論および高齢者の心身機能評価を探究し、健康生活上の問題を分析するとともに、それに対する課題(サポートシステムなど)を探究する。

到達目標

- (1) 高齢者の健康生活を支援する理論について理解を深める。
- (2) 高齢者の健康生活やそのサポートシステムに関する文献クリティークができる。
- (3) 高齢者の健康生活を支援する理論を理解し、プレゼンテーションができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	高齢者の健康生活を支援する理論についてのレポート20%
上記以外	80%	ディスカッション50%、プレゼンテーション30%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	老年健康生活特論				担当教員	平田 弘美	
講義コード	1852120	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT534						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	授業評価や課題についてのオリエンテーション
第2回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第3回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第4回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第5回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第6回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第7回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第8回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第9回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第10回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第11回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第12回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第13回	高齢者の健康生活を支援する理論	高齢者の健康生活を支援する理論に関するディスカッション
第14回	プレゼンテーション	高齢者の健康生活を支援する理論に関するプレゼンテーション
第15回	まとめ	

担当者から一言

講義名	老年健康生活評価演習				担当教員	平田 弘美	
講義コード	1852130	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT536						

授業概要

高齢者の健康生活に対する評価・介入方法を事例から分析し、家族システム・機能を含めた援助方法について理論と実態から検討する。また、高齢者のQOLを高めるためのケア計画とその評価方法の検討、およびその開発方法について探求する。

到達目標

1. 高齢者の健康生活に対する評価・介入方法を事例から分析し、家族システム・機能を含めた援助方法について考えることができる。
2. 高齢者のQOLを高めるためのケア計画とその評価方法の検討、およびその開発方法について文献を用いながら探求することができる。
3. 関心のある文献をクリティークし、それを記述しプレゼンテーションすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	文献クリティーク40% ディスカッション40% プレゼンテーション20%

到達目標1 (文献クリティーク20%、ディスカッション20%)
 到達目標2 (文献クリティーク20%、ディスカッション20%)
 到達目標3 (プレゼンテーション20%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で随時紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で随時紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	老年サポート技術演習				担当教員	平田 弘美	
講義コード	1852140	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT538						

授業概要

コーディネータとしての役割を踏まえ、サポートシステムの組織化、活用への専門的知識、技術、理論の統合を習得する。

到達目標

- (1) コーディネーターとしての役割を理解することができる。
(2) 高齢者サポートシステムの組織化を考えることができる。
(3) 健康障害をもつ高齢者やその家族に対しての看護実践能力を向上し、実践したことを報告することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	実践レポート100%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

「老年看護援助論」の履修者または単位取得者とする。

履修資格

講義名	慢性看護学課題研究				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853010	単位数	2	開講期			通年集中
ナンバリング番号	681CNS601						

授業概要

慢性病とともに生活している人々への看護実践活動の分析と評価、効果的な看護展開方法や支援システムの構築等に関する課題をみつけ、研究をすすめる。また、専門看護師が自ら専門機能発揮の基盤を作り出す取り組みにおいて必要となる能力を育成する。

到達目標

- (1) 慢性看護学領域における看護の課題と研究対象とすべき課題等について、基本的文献や先行研究を検討する。
- (2) 個人の希望する研究課題研究しようとする課題に関する文献検討や実習において習得したことから議論などを通して探求すべき研究課題を明確にする。
- (3) 研究デザインや方法を吟味し、研究計画書を作成する。
- (4) 倫理審査を受ける。
- (5) 計画した研究を遂行する。
- (6) 研究成果をもとに論文を執筆する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	課題研究論文

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護学課題研究				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853015	単位数	2	開講期			通年集中
ナンバリング番号	681CNS601						

授業概要

慢性病とともに生活している人々への看護実践活動の分析と評価、効果的な看護展開方法や支援システムの構築等に関する課題をみつけ、研究をすすめる。また、専門看護師が自ら専門機能発揮の基盤を作り出す取り組みにおいて必要となる能力を育成する。

到達目標

- (1) 慢性看護学領域における看護の課題と研究対象とすべき課題等について、基本的文献や先行研究を検討する。
- (2) 個人の希望する研究課題研究しようとする課題に関する文献検討や実習において習得したことから議論などを通して探求すべき研究課題を明確にする。
- (3) 研究デザインや方法を吟味し、研究計画書を作成する。
- (4) 倫理審査を受ける。
- (5) 計画した研究を遂行する。
- (6) 研究成果をもとに論文を執筆する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	課題研究論文

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護学実習				担当教員	横井 和美 / 未定 *	
講義コード	1853020	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号	581CNS508						

授業概要

慢性病をもつ人々との関わりを通し慢性病者の体験世界に理解を深め、慢性病者が求める看護ケアを提供するために、臨床で行われている高度で専門的な看護実践について臨地で学習する。また、専門看護師としてのコーディネーションやコンサルテーション、倫理調整等の実際を学習し、慢性疾患看護専門看護師の役割と機能について理解を深め、専門的な看護実践能力を養う。

到達目標

- (1) 慢性病をもつ人々とその身近にいる人々(家族・地域)が長期にわたる療養生活においてどのような体験をし、どのような思いを抱いているのかを捉え、長期にわたる看護援助のあり方を学ぶ。
- (2) 慢性看護領域における倫理的課題に対する課題と対応技術を習得する。
- (3) 慢性看護領域における専門的看護活動をしている施設において、専門看護師の具体的な看護実践内容(主にコーディネーションやコンサルテーション、倫理調整等)を学び、その看護実践内容を基盤に自ら展開していけるための看護実践能力を見出す。
- (4) 慢性病をもつ人々の包括的なアセスメントおよび症状マネジメントに関わる専門的な知識および技術を学修する。
- (5) 当該実習で深めた内容を踏まえ、計画的・探求的・意図的に行った実践についてまとめ、実習報告書を作成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習記録や実習参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護学実習				担当教員	横井 和美 / 未定 *	
講義コード	1853030	単位数	4	開講期			
ナンバリング番号	681CNS602						

授業概要

慢性看護学実習 で習得した実践技術を活かし、専門看護師としての役割獲得ができるようスーパーバイザーの指導を受けながら、学生の関心領域である慢性病の予防、健康増進および生活調整において、自らが高度な看護実践能力を統合して発揮できるような実習計画を立案し実施することで、専門看護師に必要な実践能力（実践・教育・相談・調整・研究・倫理調整）を高める。

到達目標

- (1) 慢性疾患の予防、健康増進および生活調整に関する高度な看護知識・技術を使って、個人・家族・集団を対象に看護を実践する。
- (2) 看護職者に対して、看護ケアの向上を支えるための教育的機能を果たす。
- (3) 看護職者を含むケア提供者に係わるコンサルテーション（相談）を実践する。
- (4) 慢性疾患の予防、健康増進および生活調整に関する高度な看護知識・技術を使って、多専門職におけるケアの調整（コーディネーション）を実践する。
- (5) 慢性病者の看護を行う上での倫理的問題・葛藤について関係者間での倫理調整を実践する。
- (6) 看護職者が実践の改革者としてどのように機能していくか、また総合的に組織や人に働きかけていくか実習を通して学び、慢性疾患看護専門看護師の機能や役割について探求する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	実習記録、実習参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

慢性看護学実習 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	慢性看護学特論 A				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853040	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581CNS501						

授業概要

慢性病者やその家族の行動や心理的特徴の理解を深める代表的な理論の内容を講義し、事例検討を通して対象者理解を深めるための理論活用方法の視点を培う。

到達目標

- 1) 慢性病者やその家族の行動や心理的特徴の理論を深める代表的な理論の内容について説明できる。
- 2) 対象者の理解を深めるための理論活用方法を身に着ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッションの準備および参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	クロニックイリネス 人と病いの新たななかかわり	アイリーン・モロフ・ラブキン、パメラ D.ラーセン著	医学書院	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル	黒江ゆり子 訳	医学書院	
2	慢性疾患を生きる	南 裕子 訳	医学書院	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護学特論 B				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 角野 文彦 / 未定*	
講義コード	1853050	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581CNS502						

授業概要

慢性病者の医療・福祉制度や体制をヘルスプロモーションの変遷の視点でとらえ、慢性病者が生活している様々な現場に実施されている医療・福祉制度と支援状況を紹介します。今後の医療・福祉制度の変遷を見極め、新たな制度や体制づくりへの想起に役立てる。

到達目標

- 1) 健康に対する考え方の変移から慢性病をもつ人に適用されてきた医療・福祉の制度や体制を説明できる。
- 2) 医療福祉制度および体制をヘルスプロモーションの変遷の視点で説明できる。
- 3) 慢性病者に対するヘルスプロモーションについて、今後の課題や新たな医療・福祉制度を検討できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護支援論 A				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853060	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581CNS503						

授業概要

慢性病者を支援するための諸理論やモデルを講義にて紹介し、支援技術が示された事例や文献レビューを行い、事例の情報を基に理論やモデルから導き出される支援方法を検討する。最終的には学生の関心領域である慢性病者の特徴を支援する方法や評価方法を検討する。

到達目標

- (1) 看護に活用される中範囲理論について説明できる。
- (2) 看護現象を看護理論を用いて説明できる。
- (3) 看護問題を解決するための看護治療技術について理論を用いて説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護支援論 B				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定*	
講義コード	1853070	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581CNS504						

授業概要

慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術について理論を講義にて学び、各病期における主な支援技術方法の習得とその評価方法についてもデータを用いて検討する。

到達目標

- (1) 慢性病の様々な変化する時期に対応した情緒的支援および症状マネジメントのための支援技術の修得と評価方法を理解する。
(2) 慢性病者に対する看護援助のあり方と評価に対する文献レビューができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護支援論C				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 伊波 早苗 / 未定*	
講義コード	1853080	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581CNS505						

授業概要

慢性病者の主な治療における療養生活での専門的支援内容を講義にて理解し、治療生活環境のコーディネートや連携の在り方を追求する。専門看護師として慢性病者の治療環境整備における他職種とのチーム連携に必要なコーディネーションやチームメンバーに対するコンサルテーションについて方法を学ぶ。

到達目標

- (1) 慢性病者の質の高い生活に向けての治療環境について検討できる。
- (2) 慢性病を支援する継続看護に必要な調整内容について説明できる。
- (3) 治療環境・支援チームの連携のグループダイナミクスについて説明できる。
- (4) 慢性病者を支援するチーム連携と継続看護の方向性について検討できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	ディスカッション、プレゼンテーションの参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護支援論演習				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定 * / 森 敏	
講義コード	1853100	単位数	2	開講期			通年
ナンバリング番号	581CNS506						

授業概要

フィジカルイグザミネーションの技術習得および検査の見方など身体的アセスメントに必要な知識・技術の修得を基盤に、対象者の心理社会的な側面のアセスメントの視点を学び、さまざまな事例を通して包括的なアセスメントできる能力を身に付ける。

到達目標

- (1) 慢性病者の複雑な状態を理解するためのフィジカルアセスメントの知識と技術を習得する。
- (2) 慢性病者の各発達段階における心理・社会的特徴からのアセスメントの視点を学ぶ。
- (3) さまざまな慢性病者の事例の身体・心理・社会面等からのアセスメントの視点や方法を学び、包括的なアセスメント能力を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	
上記以外	40%	事例展開の準備、参加状況

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	慢性看護支援論演習				担当教員	横井 和美 / 荒川 千登世 / 糸島 陽子 / 未定 * / 森 敏	
講義コード	1853100	単位数	2	開講期			通年
ナンバリング番号	581CNS506						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	慢性病者に必要なフィジカルアセスメント	慢性病者に必要なフィジカルアセスメントの目的と基本的技法（問診、視診）
第2回	フィジカルアセスメントの基本技法	触診：循環、腹部・胸部（聴診、打診も含む）
第3回	フィジカルアセスメントの基本技法	打診：神経反射等
第4回	フィジカルアセスメントの基本的技法	打診：神経反射等
第5回	フィジカルアセスメントの基本的技法	聴診：胸部、心臓等
第6回	フィジカルアセスメントの基本的技法	聴診：胸部、心臓等
第7回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第8回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第9回	フィジカルアセスメント	心電図のアセスメント
第10回	慢性病に必要な臨床検査データの見方	主な慢性疾患の検査データのアセスメント
第11回	慢性病に必要な臨床検査データの見方	主な慢性疾患の検査データのアセスメント
第12回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	小児期・思春期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第13回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	成人期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第14回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	成人期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第15回	慢性病者のライフステージに沿った発達課題からの包括的アセスメント	老年期における慢性病者の身体的・心理社会的なアセスメントの方法
第16回	障害に対する国際生活機能分類を使った包括的アセスメントの視点	1) 国際生活機能分類（心身機能、身体構造）からのアセスメントの視点、 2) 国際生活機能分類（活動と参加、環境因子）からのアセスメントの視点
第17回	障害に対する国際生活機能分類を使った包括的アセスメントの視点	1) 国際生活機能分類（心身機能、身体構造）からのアセスメントの視点、 2) 国際生活機能分類（活動と参加、環境因子）からのアセスメントの視点
第18回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の呼吸機能障害における病態生理学的特性（慢性呼吸不全）
第19回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の呼吸機能障害の治療状況からの心理・社会的アセスメント
第20回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	生活における身体可動性についてのアセスメント 呼吸機能障害者の家族・地域アセスメント
第21回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	包括的リハビリテーションへの支援のためのアセスメントの一例 事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第22回	慢性の呼吸機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	包括的リハビリテーションへの支援のためのアセスメントの一例 事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第23回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の排泄機能障害における病態生理学的特性（人工肛門造設者）
第24回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	慢性の排泄機能障害の治療状況からの心理・社会的および家族アセスメント
第25回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	ストーマケアのためのアセスメントの視点、 4) 障害の受容やボディイメージに対するアセスメント
第26回	慢性の排泄機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法
第27回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	糖尿病患者の病態生理学的特性
第28回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	薬物血糖コントロールにおける心理・社会的アセスメント
第29回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	糖尿病教育学習上でのアセスメント（家族アセスメントを含む）
第30回	慢性の代謝機能障害をもつ人と家族の包括的アセスメント	事例におけるアセスメントの焦点とアプローチ法

担当者から一言

講義名	組織行動マネジメント論特論					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

医療福祉組織において中心的役割を果たす看護職の人材確保・育成・人的活用について概説する。そのうえで、人を活かし組織力を高めるための組織行動の考え方を探求する。

到達目標

- 1) 医療組織における看護組織と人的資源活用の必要性を関係づける。
- 2) 組織行動の意味を考え、「ひとを動かす」ための視点が説明できる。
- 3) 自己の研究課題を説明できる。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標1)3)についてレポート課題を課す
上記以外	50%	到達目標1)2)3)討論への参加状況 到達目標4)プレゼンテーションについて評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	組織行動の考え方	金井壽宏・高橋潔	東洋経済	
2				
3				

【参考書】

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	組織行動マネジメント論演習					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

看護職のキャリア支援と人材活用のマネジメント、自己およびスタッフのストレスマネジメントについて考究する。また、看護職の継続教育と人材育成/活用に関する先行研究を批判的検討する力を養い、自己の研究課題を明確にする。

到達目標

- 1) 看護職の継続教育と効率的な人材活用について説明する。
- 2) 先行研究の批判的検討ができる。
- 3) 自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標1)3)について課題を課す
上記以外	40%	到達目標4)について評価する 到達目標1)~3)のディスカッションへの参加状況を評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

人的資源活用論特論を履修していること

履修資格

講義名	組織行動マネジメント論演習					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	ガイダンス
第2回	医療組織と看護職の人材活用	医療組織における看護職 組織運営
第3回	看護職の継続教育と効率的な人材活用	看護職の継続教育 効率的な人材活用
第4回	先行研究のクリティーク	看護職の継続教育と人材育成に関する先行研究のクリティーク
第5回	先行研究のクリティーク	看護職の継続教育と人材育成に関する先行研究のクリティーク
第6回	先行研究のクリティーク	看護職の継続教育と人材育成に関する先行研究のクリティーク
第7回	先行研究のクリティーク	看護職の継続教育と人材育成に関する先行研究のクリティーク
第8回	先行研究のクリティーク	人材を育てる・活かす看護マネジメント 先行研究のクリティーク
第9回	先行研究のクリティーク	人材を育てる・活かす看護マネジメント 先行研究のクリティーク
第10回	先行研究のクリティーク	人材を育てる・活かす看護マネジメント 先行研究のクリティーク
第11回	研究課題の明確化	研究計画
第12回	研究課題の明確化	研究計画
第13回	研究計画	研究計画
第14回	研究計画	研究計画発表
第15回	研究計画	研究計画発表
担当者から一言		

講義名	公衆衛生看護学特論					担当教員	小林 孝子
講義コード	1853130	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	581MNT524						

授業概要

公衆衛生看護の発展の歴史から、概念や活動の理論的根拠を理解し、地域ヘルスケアの質の向上に寄与できる視点を確立する。さらに地域の人びとの健康ニーズの把握・アセスメント・看護活動の計画・実施・評価の過程が理解でき、住民と協働する公衆衛生看護活動のあり方を主体的に学ぶ。

到達目標

- (1) 公衆衛生看護実践に用いられる概念や方法論を説明することができる。
- (2) 保健師の能力形成について、自分の考えを述べることができる。
- (3) 地域診断の必要性と方法を説明することができる。
- (4) 健康課題となる現象を明確化し、課題の解決に向けた方法論を論述できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	(4) レポート20%
上記以外	80	(1)(2)(3)(4) プレゼンテーション10%、ディスカッション10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	保健師 地域の健康をつむぐそのはたらきと能力形成	高尾茂子	ふくろう出版	
2	地域看護診断 第2版	金川克子・田高悦子	東京大学出版会	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学演習				担当教員	小林 孝子	
講義コード	1853140	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT525						

授業概要

公衆衛生看護活動の歴史と変遷をふまえた諸理論について検討し、知識を深める。人びとの潜在化した健康課題を顕在化し、個別支援からグループ支援、地域での健康活動へと推進する高度な専門的能力を養成する。また、基礎となる考察力を高めるために文献講読を行う。国内外の活動事例を検証する過程で、その活動の有効性や課題について考察し、研究活動を行う上での資料とする。

到達目標

- (1) 地域の人々の潜在化している健康課題と関連する概念を説明できる。
- (2) 健康課題と解決に向けた方法論を説明できる。
- (3) 健康課題に関連する論文のクリティークができる。
- (4) 文献講読をもとに、課題解決にむけた方法の有効性を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	(4) レポート20%
上記以外	80	(1) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (2) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (3) プレゼンテーション20%、ディスカッション10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実践 ヘルスプロモーション PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価	ローレンス W. グリーン	医学書院	
2	コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際	エリザベス T. アンダーソン	医学書院	
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人的資源活用論特論					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853180	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT516						

授業概要

医療福祉組織において中心的役割を果たす看護職の人材確保・育成・人的活用について概説する。そのうえで、人を活かし組織力を高めるための組織行動の考え方を探求する。

到達目標

- 1) 医療組織における看護組織と人的資源活用の必要性を関係づける。
- 2) 組織行動の意味を考え、「ひとを動かす」ための視点が説明できる。
- 3) 自己の研究課題を説明できる。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標1)3)についてレポート課題を課す
上記以外	50%	到達目標1)2)3)討論への参加状況 到達目標4)プレゼンテーションについて評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	組織行動の考え方	金井壽宏・高橋潔	東洋経済	
2				
3				

【参考書】

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人的資源活用論演習					担当教員	窪田 好恵
講義コード	1853190	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	581MNT517						

授業概要

看護職のキャリア支援と人材活用のマネジメント、自己およびスタッフのストレスマネジメントについて考究する。また、看護職の継続教育と人材育成/活用に関する先行研究を批判的検討する力を養い、自己の研究課題を明確にする。

到達目標

- 1) 看護職の継続教育と効率的な人材活用について説明する。
- 2) 先行研究の批判的検討ができる。
- 3) 自己の研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。
- 4) 課題に対するプレゼンテーションを準備し、実施する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標1)3)について課題を課す
上記以外	40%	到達目標4)について評価する 到達目標1)~3)のディスカッションへの参加状況を評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

人的資源活用論特論を履修していること

履修資格

講義名	在宅看護学特論				担当教員	未定*	
講義コード	1853200	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	581MNT522						

授業概要

在宅療養者とその家族の健康上の問題に対して提供される看護の現状と課題を探究し、生活の場に応じた看護課題の解決にむけた方策について考察する能力を培う。

到達目標

1. 在宅で提供されている在宅ケア（医療・看護・保健・福祉等）の現状と課題を明らかにできる。
2. 在宅ケアシステム、多職種連携における訪問看護師の役割を明らかにし、生活の場で実践される連携のあり方について考察できる。
3. 訪問看護に関連した制度のあり方について検討できる。
4. 在宅療養者とその家族の健康課題解決に向けた看護実践のあり方を考察し、提言できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト なし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献は適宜提示する。

前提学力等

履修資格

講義名	在宅看護学演習				担当教員	未定*	
講義コード	1853210	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	581MNT523						

授業概要

学生が実践してきた事例や国内外の文献をもとに、在宅療養者及びその家族の生活環境を考慮した在宅生活を支援する看護技術の展開ができる能力を培う。

到達目標

1. 在宅看護におけるアセスメントの理論・モデルの適応について理解できる。
2. 在宅看護におけるアセスメントツールの活用ができる。
3. 在宅療養者及びその家族の生活と健康について適切にアセスメントができる能力を修得する。
4. 事例から、在宅療養者の自立支援、QOLの維持向上に向けた看護実践のあり方を考察できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	
上記以外	50	プレゼンテーション 50%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト なし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要時適時提示する。

前提学力等

履修資格

